

若い技能工の育成を！
輝く未来へ
協同組合

東夕煉協報

第276号
発行所
東京都タイル煉瓦工事工業協同組合
発行人 上島康秀
編集人 広報部
東京都新宿区市谷田町 2-29
こくほ 21・4F (〒162-0843)
☎03 (5225) 6466 FAX03 (5225) 6477

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合では、1月23日（木）、午後5時30分より、新年賀詞交歓会を千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷（＝私学会館）にて開催した。

この日の新年賀詞交歓会は堀越総務部長の司会、戸村副理事長の開会の挨拶で始まり、まず上島理事長が新年の挨拶を述べた。

「皆様、明けましておめでとうございませう。本年の干支は乙・巳（き



盛り上がった新年賀詞交歓会



開会 戸村副理事長



LIXIL 吉田氏

のと・み）で「努力を重ねる年にしてしまおう！」と意気込みが込められている。結果が出ずとも焦らず粘り強く取り組むことで望む結果に近づきます。ぜひ目標を持って辛抱強く頑張る年にしましょう！

さて昨年来、原材料価格の高止まり、人件費の上昇、慢性的な人材不足と働き方改革による時間外労働の上限規制など建設業が抱える課題は大変厳しいものがあります。この状況下におい

ては、この現状認識の中で、施工業者と発注者が適切な工期のあり方を共有し、変更があった場合はその都度対応する。こういうことが業界の商習慣となるのが肝要であると私は考えています。

少子高齢化が進み他産業との厳しい人材獲得競争が始まっています。そうした中、有意な人材を獲得するには、建設工事現場に従事する者の処遇の改善が益々重要となっています。引き続き業界を挙げた取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。

コロナ禍がほぼ終結し、日常を取り戻した日本経済は、スーパーゼネコン他大きな企業では、人手不足を克服するためのソフトウェア開発等への投資が急増しています。労働者の人手不足の問題にむけた取り組みが、今年も全産業で進められていくと思います。

次に東夕協の取り組みについて触れておきます。昨年「化学物質管理者講習」や「保護員着用管理責任者講習」を実施しました。私からはかねてよりタイル工事に活用しぜひ受講者同士の横のつながりを持っていたと、仕事に役立てて頂きたいと考えております。今年も講習会の開催等組合といたし積極的に進めていきたいと思います。

次に支部組織の見直しについてです。当組合には現在11の支部がありますが支部員が一人であったり、支部長が不在の支部があったりと問題が生じています。

今年、支部の再編をおこない、支部活動については組合の活性化を図りたいと思っておりますので、組合員の皆様にはぜひご協力をお願いいたします。

また、技能検定そして技能五輪全国大会といった職業能力促進事業にもこれまで同様力を入れていきたいと思っております。技能検定や技能五輪全国大会を推進することにより、若手の育成につなげていきたいと考えています。今年はこのようになことを実現してゆく年にしたいと考えておりますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

続いて、来賓の協賛企業、メーカー・商社さんが紹介され、代表して、(株)LIXIL タイルチャンネル営業部の吉田氏があいさつに立ち、戸建て住宅等の着工実績、四月期までの予測数字を交えタイル業界の現状を話された。



上島理事長

「本日はこのような形で表彰の場を設けていただきありがとうございます。今年1年タイル業界がいつそう栄えますように」という声高らかな乾杯の音頭で交歓の幕が上がった。

協賛企業・メーカー・商社の皆さんとの交流の輪が広がり、歓談、有意義な情報交換行われた。

またメーカーさんによる商品の紹介もあり、盛り上った宴も時間はあっという間に過ぎ、伊藤副理事長の開会の辞でお開きとなりました。

続いて、狩野理事による「タイル需要の減少や人材不足と課題も多くありますが、今年1年タイル業界がいつそう栄えますように」という声高らかな乾杯の音頭で交歓の幕が上がった。

協賛企業・メーカー・商社の皆さんとの交流の輪が広がり、歓談、有意義な情報交換行われた。

またメーカーさんによる商品の紹介もあり、盛り上った宴も時間はあっという間に過ぎ、伊藤副理事長の開会の辞でお開きとなりました。

続いて、狩野理事による「タイル需要の減少や人材不足と課題も多くありますが、今年1年タイル業界がいつそう栄えますように」という声高らかな乾杯の音頭で交歓の幕が上がった。

協賛企業・メーカー・商社の皆さんとの交流の輪が広がり、歓談、有意義な情報交換行われた。

目標を持って 辛抱強く頑張る年に!!

東京都タイル煉瓦工事工業協同組合 新年賀詞交歓会



乾杯 狩野理事



閉会 伊藤副理事長



技能検定優秀合格者表彰

第六十七回通常総会
日時 五月二十一日（水）
受付 一五時〇〇分
開会 一五時三〇分
総会懇親会
受付 一六時三〇分
開会 一七時〇〇分
場所 アルカディア市ヶ谷
懇親会 4階 鳳凰

株式会社 豊泉

大森本社 〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目1-10 大森石化Ⅱ2F
足立支店 〒121-0064 東京都足立区保木間 3-26-4
北多摩支店 〒203-0054 東京都東久留米市中央町 4-11-11
立川支店 〒190-0001 東京都立川市若葉町 4-12-11
西東京支店 〒190-1202 東京都西多摩郡瑞穂町駒形富士山字駒形 136-1
木更津支店 〒292-0052 千葉県木更津市祇園 4-2-17
千葉支店 〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町 118-10
松戸支店 〒277-0054 千葉県柏市南増尾 7-11-16
埼玉支店 〒343-0027 埼玉県越谷市大房 999
鶴ヶ島支店 〒350-2218 埼玉県鶴ヶ島市柳戸町 3-4
小田原支店 〒250-0218 神奈川県小田原市延清字中沢 4
神奈川支店 〒252-0815 神奈川県藤沢市石川 6-10-9
相模原支店 〒252-0302 神奈川県相模原市南区上鶴間 2-17-21

TEL 03-6271-6715
TEL 03-3884-0532
TEL 042-473-1140
TEL 042-536-1309
TEL 042-557-7081
TEL 0438-98-5121
TEL 043-421-2691
TEL 04-7173-5522
TEL 048-977-0421
TEL 049-271-2802
TEL 0465-37-4615
TEL 0466-87-8284
TEL 042-743-9692



株式会社 LIXIL

お客様相談センター ☎ 0120-1794-00

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

第5回、第6回理事・支部長合同会議を開催

第5回理事・支部長合同会議

令和6年度第5回理事・支部長合同会議は、令和7年2月6日（木）「こくほ21」4階協用会議室において開催された。（以下、敬称略）

【出席者】
〔理事〕上島 伊藤、戸村 狩野、山下、松本
〔監 事〕葭原
〔欠席者〕
〔理事〕堀越、土屋、澄川、突川、和田
〔支部長〕矢部、斗澤、古澤、小林、宮崎、加藤

会議冒頭上島理事長より挨拶があり、続いて上島理事長が本会議の座長に付き、組合本部、事業部から以下の報告と提案があった。

(1) 支部組織再編について
組合本部支部再編案について審議。支部再編後の役員定数について協議。
(2) 国民健康保険、茨城県支部に関する報告
保険料の徴収方法の変更について
通信費の削減について
(3) 事務局の運営について
事務職員との面談意見聴取を実施
(4) 技能検定委員の処遇改善について、現状の処遇について報告
(5) 新入会員の件（入会申請の承認）

堀越、山下、松本
〔監 事〕葭原
〔支部長〕中川（修）、加藤
〔欠席者〕
〔理事〕狩野、土屋、澄川、突川、和田
〔支部長〕矢部、斗澤、古澤、小林、宮崎

第6回理事会・支部長合同会議

第6回理事・支部長合同会議は、3月13日（木）に「こくほ21」4階協用会議室にて開催された。（以下、敬称略）

【出席者】
〔理事〕上島 伊藤、戸村 狩野、山下、松本
〔監 事〕葭原
〔支部長〕中川（修）、加藤
〔欠席者〕
〔理事〕狩野、土屋、澄川、突川、和田
〔支部長〕矢部、斗澤、古澤、小林、宮崎

会議冒頭上島理事長より挨拶があり、続いて上島理事長が本会議の座長に付き、組合本部、事業部、支部から以下の報告と提案があった。

(1) 令和7年度事業計画について
(2) 技能五輪全国大会及び2028年国際大会愛知大会について
(3) 広報「東夕煉協報」276号（4月号）掲載の支部報告、事業部報告の原稿の依頼
(4) あんしん財団保険給付について
(5) 新入会員について報告
(6) 技能検定委員について（前回会議からの継続協議事項）
(7) 事務局出向者の費用の支出について
(8) 支部再編について（前回会議の確認）

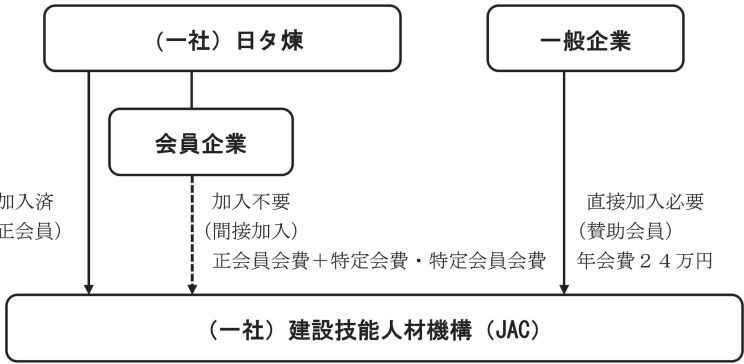
特定技能外国人の受入について

建設業において特定技能外国人を受け入れる企業は、一般社団法人建設技能人材機構（JAC）の会員になることが定められています。JACの会員になるには2つのルートがあり、JACに加入している正会員団体（建設業の業界団体）の会員になるか、JACに賛助会員として直接加入するかです。賛助会員として加入する場合、1社当たり24万円の年会費がかかります。なかなかの高額です。

日夕煉は昨年12月にJACへ加盟しましたので、日夕煉の会員企業は、間接的にJACに加入しているとみなされます。この場合、JACへの年会費は不要となります。（ただし、日夕煉が別に定める年会費を納入することが必要）なお、直接加入、間接加入を問わず、特定技能外国人一人につき所定の受入負担金をJACに納めなければなりません。日夕煉会員企業の受入負担金は、日夕煉が代行収納を行います。

特定外国人の受入に際しては、各社が受入計画を策定し、国土交通省の認定を受ける必要があります。申請には日夕煉が発行する会員証明書（特定技能用）が必要となります。

1. JACへの加入イメージ

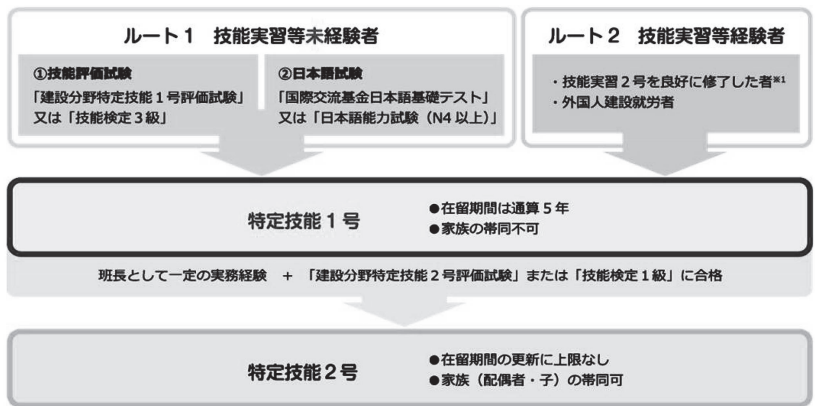


2. 受入手続き

新たに特定技能雇用契約を結ぼうとする受入企業は、「建設特定技能受入計画」を作成して、国土交通省の「外国人就労管理システム」で国土交通大臣に認定申請します。申請の際添付が必要となる日夕煉会員証明書は、所定の申請書により申請下さい。なお、会員団体傘下会員企業については、所属団体の会員証明書が必要です。

外国人が特定技能外国人の資格を得るには2つのルートがあります。それぞれのルートに合わせて受入計画を作成して下さい。

特定技能外国人になるルート



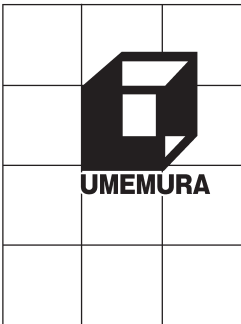
(1) ルート1：技能実習を経験していない外国人の場合（試験合格者）
技能実習2号を良好に修了していない外国人が1号特定技能外国人になるためには、技能検定3級の水準に相当する技能評価試験と日本語試験の両方の試験に合格することが必要です。

技能評価試験については、「技能検定3級」又は（一社）建設技能人材機構（JAC）（以下「JAC」という。）が実施する技能検定3級の水準に相当する「建設分野特定技能1号評価試験」のいずれかに合格することが必要です。試験の実施時期などの詳細については、決まり次第、国土交通省及びJACのホームページで公表します。

(2) ルート2：技能実習を経験している外国人の場合（試験免除者）
技能実習2号を良好に修了した外国人については、技能評価試験及び日本語試験が免除されます。このため、試験免除で1号特定技能外国人になることが可能です。

技能実習3号を修了した外国人については、技能実習2号を良好に修了したことを前提としているので、試験免除で1号特定技能外国人になることが可能です。また、在留資格「特定活動」（国土交通省の外国人建設就労者受入事業）で就労中の外国人建設就労者についても、技能実習2号を良好に修了したことを前提としているので、試験免除で在留資格「特定活動」から在留資格「特定技能1号」に変更することが可能です。前述の試験免除となる外国人に対しては、当該外国人の受入れを希望する建設企業と特定技能雇用契約を締結し、後述する一定の手続きを経た後に、「特定技能1号」という在留資格が付与されます。

技能実習2号を「良好に修了」とは、技能実習を2年10か月以上修了し、次のいずれかを満たすことが必要です。
ア. 技能検定3級又は技能実習評価試験（専門級）の実技試験に合格していること。
イ. 技能検定3級又は技能実習評価試験（専門級）の実技試験に合格していないものの、実習中の出勤状況や技能等の修得状況、生活態度等を記載した実習実施者が作成した評価調書により技能実習2号を「良好に修了」したと認められること。



株式会社梅村タイル店
http://www.umemura-tile.co.jp

本 社 〒161-0031 東京都新宿区西落合1-20-20
TEL.03(3954)6180 FAX.03(3954)6188
瀬田支店 〒158-0095 東京都世田谷区瀬田2-20-6
TEL.03(3700)0127 FAX.03(3700)0197
国立支店 〒186-0003 東京都国立市富士見台3-3-4
TEL.042(575)4507 FAX.042(572)8861
新座支店 〒352-0011 埼玉県新座市野火止1-12-27
TEL.048(478)5396 FAX.048(478)4179
大田支店 〒146-0095 東京都大田区多摩川1-9-2
TEL.03(3757)4511 FAX.03(3757)4514
調布支店 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-33-38
TEL.042(488)1616 FAX.042(488)5821
営業開発部 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-33-38
TEL.042(488)3311 FAX.042(488)3441
ショールーム 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-2-4
TEL.042(488)1726 FAX.042(488)3481

快適な空間づくりのための
システムとサービスの提供

街の顔、家の顔を美しく整え
街のこころ、家のこころを
温かく伝えます

アベルコ

■本社
東京都足立区鹿浜3-3-3 〒123-8509
TEL 03-3853-3391代 FAX 03-3853-3460

■東京TS支店
■横浜TS営業所
■東京支店
■東京建材支店
■南東京支店
■調布営業所
■西東京支店
■練馬営業所
■東京サッシ支店
■東京住設支店
■東京東営業所
■東京LIVE支店
■神奈川支店
■横浜営業所
■相模原営業所
■湘南営業所
■千葉支店
■つくば営業所
■千葉中央支店
■千葉西支店
■水戸支店
■埼玉支店
■埼玉西営業所
■群馬支店
■栃木支店
■郡山支店
■仙台支店
■大阪支店

東夕連広報

第 247 号

〒130-0026
東京都墨田区両国 4-2-7
ラウンドビル 602TEL 03-6284-0705
FAX 03-6284-0706
東京タイル築炉業
協 同 組 合 内東京都タイル煉瓦
工業業組合連合会

●東京タイル築炉業協同組合

恒例 高幡不動尊「節分会」に参加

高幡不動尊の正式名称は、真言宗智山派別格本山高幡山明王院金剛寺とい

い、関東三大不動の一つに挙げられ「高幡のお不動さん」と呼ばれ親しまれているお寺であり、1100年前、平安時代初期に慈覚大師円仁が、清和天皇の勅願によりこの地を霊場と定め、不動明王を安置したのにはじまりといわれている。

2月2日（日）、高幡不動尊で恒例の「節分会」が開催された。（注釈：節分会は「せつぶんえ」と読み、

主に仏教寺院で執り行われる法会のひとつであり、多くの場合、法要とともに豆撒きが行われる。節分会は恒例の行事であり、今回組合からは森井政明理事長はじめ、山崎秀一副理事長、佐瀬浩司副理事長、金澤徳久理事、柴高治理事、重田雄平理事、室本前事務局長、地子事務局長が参加し、参加者全員袴・袴を身に着けて、業界並びに会員・組合員の事業の発展、ご家族の健康、この1年の安全を祈願した。

来年は、当組合員はもちろんのこと日々煉関係者、近隣友誼団体の皆様など更に多くの方に参加いただきたいと思っています。

阿波丸撃沈事件について、戦後75年にあたる令和2年7月号にも記したが、事件から80年の節目を迎えた今年、再度この紙面で、技術者や技能工として徴用され、二度と祖国日本の土を踏むことがかなわなかった我々の先輩方がいたことを語り継ぎたい。



参加した面々



紳姿で



帰還船『阿波丸』撃沈事件から80年 犠牲になった業界人を偲び語り継ぐ

2025年は昭和100

年の年である。そして先の大戦終結から80年の節目の年になる。戦争体験者の高齢化が進み戦争の記憶は年々薄れ、歴史の生き証人として語り継ぐことができ

る方も年々その数を減らしている。それは、私たちタイル煉瓦工業業界も同じことであり、タイル煉瓦業界の歴史を語ってくれた諸先輩の多くが、すでに泉下の客となられている。

4月1日、帰還船『阿波丸』撃沈事件から80年を迎え、関係各所で慰霊の法要が執り行われている。

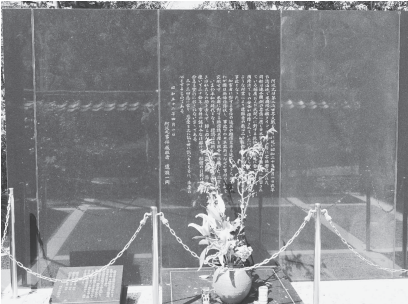
阿波丸撃沈事件について、戦後75年にあたる令和2年7月号にも記したが、事件から80年の節目を迎えた今年、再度この紙面で、技術者や技能工として徴用され、二度と祖国日本の土を踏むことがかなわなかった我々の先輩方がいたことを語り継ぎたい。

第二次世界大戦の砦り南方に派遣 阿波丸並びに現地において戦没された東京煉瓦加工業組合に属せし四拾数柱の御霊の合同慰霊祭を行うにあたりその記念事業として社頭揭示所を建立献納する

昭和三十三年十月

東京タイル同業会
東京タイル煉瓦労働組合
東京都タイル商業組合

銘板に刻まれている文字



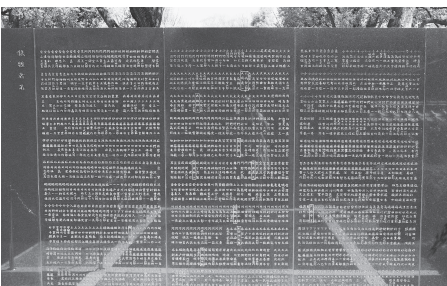
慰霊碑 裏



増上寺「阿波丸殉難者慰霊碑」表



増上寺」



阿波丸殉難者御芳名碑



靖国神社「社頭揭示所」



靖国神社

合は、昭和32年に遺族、平洋戦争（大東亜戦争）のさ中、東南アジアに進出した日本軍は、スマトラ、ボルネオ島などにピッチコックスを建設することになり、その築炉工事のため、軍命令により「東京煉瓦タイル加工業組合」に対し、2次に渡る工作派遣隊の要請があり、同組合から工作隊として80名が派遣された。これらの派遣隊が任務を終えて引上げ途中の昭和20年4月1日、乗船していた帰還船『阿波丸』（アメリカに航行の安全を保障されていた）が、台湾沖で撃沈され、乗船していた第1次派遣隊を主とした43名を含む2千余名が犠牲となった。

増上寺 歴史の記憶を未来へ繋ぐ 「阿波丸殉難者之碑」

港区芝の増上寺の山門脇にある「阿波丸殉難者之碑」をこ存じだろうか。阿波丸の犠牲者を慰霊する碑だ。三十三回忌に当たる昭和52年、芝の増上寺に犠牲者

「阿波丸事件」から80年となり、慰霊碑がある東京都港区の増上寺で13日、慰霊法要が行われた。遺族は約40人が参列。遺族らでつくる「阿波丸東京有志の会」代表で、外交官の父を亡くした金井和子さん（83）は「水の中でどんなに寒く、苦しかっただろう」と思いをはせ「この出来事を後世に残していきたい」と語られた。

4月13日増上寺で慰霊法要 犠牲者を悼む

「このようなことが二度と起きないように」と手を合わせた。冷たい雨が降る中、約40人が参列。遺族らでつくる「阿波丸東京有志の会」代表で、外交官の父を亡くした金井和子さん（83）は「水の中でどんなに寒く、苦しかっただろう」と思いをはせ「この出来事を後世に残していきたい」と語られた。

が引き上げた犠牲者のご遺骨368柱が日本に返還され、納骨されている。建立から半世紀近く経って汚れや痛みが目立っていた慰霊碑が今年2月に修繕された。

「遺族や関係者の高齢化が進み、遺族会もすでに解散するなど、記憶の風化が懸念される中で、終戦そして阿波丸沈没から80年という節目の今年、犠牲者を悼み、平和への願いを新たに

「阿波丸事件」から80年となり、慰霊碑がある東京都港区の増上寺で13日、慰霊法要が行われた。遺族は約40人が参列。遺族らでつくる「阿波丸東京有志の会」代表で、外交官の父を亡くした金井和子さん（83）は「水の中でどんなに寒く、苦しかっただろう」と思いをはせ「この出来事を後世に残していきたい」と語られた。

「阿波丸事件」から80年となり、慰霊碑がある東京都港区の増上寺で13日、慰霊法要が行われた。遺族は約40人が参列。遺族らでつくる「阿波丸東京有志の会」代表で、外交官の父を亡くした金井和子さん（83）は「水の中でどんなに寒く、苦しかっただろう」と思いをはせ「この出来事を後世に残していきたい」と語られた。

阿波丸撃沈事件

太平洋戦争中、アメリカ政府の要請で、捕虜となっていたアメリカ及び連合国の将兵及び抑留されていた民間人への支援物資を輸送することになった阿波丸が、日米協定で安全航行が保障されていたにもかかわらず、アメリカの潜水艦の攻撃で撃沈されてしまった事件。阿波丸には、船員、軍属、民間人等2070名が乗船していたと言われており、タイタニック号の犠牲者を上回り2000人を超える世界史上最大の犠牲者を出した海難事故、生存者は攻撃した潜水艦に救助された1名のみとなっている。今、船内で赤ん坊が生まれたとの通信を最後に、消息を絶つたと言われている悲劇である。阿波丸は日米間の協定で「赤十字船」（病院船）に準じた保護が約束され、船体には「緑十字」の識別マークが描かれていた。アメリカ軍は阿波丸の航路情報を各部隊に通知し、攻撃しない約束がされていたはずの船であった。